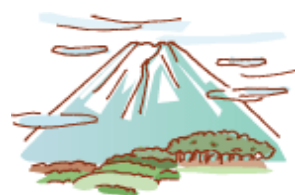


富士市の森林・林業

(令和8年度)

産業交流部林政課

目 次



1	富士市の概要	1
2	林業の沿革	2
3	森林面積と材積	3
4	富士市有林の概要と施業管理	4
5	私有林施業の推進	7
6	林道の整備状況	9
7	保安林と松くい虫対策	10
8	静岡県森林組合連合会富士事業所取扱実績	11
9	富土地域材の使用促進	12
10	森林環境譲与税の使途	14

1 富士市の概要

① 市 域

- ・市域の位置 東京まで146km、大阪まで410km
東に沼津市、西は静岡市
北西に富士宮市
- ・標 高 最高約3,680m（国土地理院2万5千分1地形図による）
最低 0m
- ・面 積 244.94km²（24,494ha）

② 気 象 （令和7年）

- ・気 温 平均17.7℃ 最高38.0℃ 最低-1.5℃
- ・降 水 量 1,815.5mm/年
- ・天 気 晴 193日 曇 139日 雨 33日
富士山眺望日 全体 136日 一部 95日
合計 231日（午前8時に観測）

③ 総人口 （令和8年4月1日現在）

- ・総 人 口 243,750人 男 121,363人
女 122,387人

④ 職員数 （令和8年4月1日現在）

- ・行 政 機 構 産業交流部林政課 職 員 11人
（うち 木材活用推進アドバイザー 1人）

資料）富士市ミニミニ情報 令和8年

２ 林業の沿革

本市の山林は、地形的・所有形態別に区分すると、概ね富士山系と愛鷹山系に分かれています。

富士山系は、黒ボク・スコリア層を形成し、２，９７６町歩の御料地入会秣場を、明治１８年に拝借券を得て、ミツマタの栽培を主に開墾しましたが、病害発生により全部枯死したことから、明治２８年頃からヒノキ・スギを造林しました。

大正８年に組合員１，３００余名からなる大淵村御料地拝借組合を設立し、拝借券の発行により地上権を得て開墾しました。また、地域住民の秣場・薪炭林採取地として地域住民が入会していたので、大正８年に大淵村御料地拝借組合が旧皇室林野局より入会地として借り受け、入会権を得て、立ち入りできるようになりました。その後、昭和２７年には、１，０００経路(国有林と民有林の境)から南地区の全面を大蔵省から払い下げを受けました。

一方、愛鷹山系は、愛鷹ローム層といわれる赤土で、内山２，３００町歩、須津山１，４７０町歩の入会地として採薪、採草等を行ってきましたが、明治１３年から１４年にかけて、第一種民有地に編入され組合の貸付地となりました。

内山の本格的植林は明治３５年から金原明善翁ら県山林協会の指導の下、模範林１８４haが造林され、大規模植林の発祥地として内山組合の発展の礎となりました。以後、今泉村の金子彦太郎氏を中心に、２，３００haの測量を行い貸付地の整理と近代的造林計画を推進しました。

須津山は、明治４０年に組合を設置し、共同管理をしてきましたが、昭和１２年に須津、吉永村に分割されました。

当時の直営林は、その後の市町村合併により引き継がれ、貸付地は、地方自治法の旧慣習による従前の町村の権利を継承し、現在に至っています。

富士川・松野地区では、教育行政の一環として、学校基金蓄積のために、造林事業を起こし、明治３８年に植林が行われました。その後も植林が続けられ、昭和に至り、学校校舎の増改築を始めとした、公営施設の建築等の有力財源として町村財政を助けることとなりました。

3 森林面積と材積

①森林面積

R7. 3. 31現在

富士市総面積 24, 494 ha
総林野面積 12, 055 ha 林野率 49. 2%
(国有林) 1, 915 ha
(民有林) 10, 140 ha 資料) R7静岡県森林・林業統計要覧

②民有林面積と材積

R7. 3. 31現在

	針 葉 樹		そ の 他 広 葉 樹		合 計	
	面積(ha)	材積(千m³)	面積(ha)	材積(千m³)	面積(ha)	材積(千m³)
人工林	8, 170	2, 779	48	4	8, 218	2, 783
天然林	1	-	1, 645	207	1, 645	207
竹林他	-	-	-	-	277	-
計	8, 171	2, 779	1, 693	211	10, 140	2, 990

資料) 樹種別森林資源表

③重視すべき機能に応じた森林区分面積(民有林)

R7. 3. 31現在

森 林 区 分	面積(ha)	割合(%)	働 き
木 材 生 産	3, 293	32. 5	木材等の資源を培養する
水 源 涵 養	6, 094	60. 1	水資源を保持し、渇水を緩和する
山 地 災 害	241	2. 4	土砂災害の発生、山地の荒廃を防止する
快 適 環 境	189	1. 8	生活環境を守り、快適な生活環境を形成する
保 健 文 化	301	3. 0	保健、教育活動に寄与する
そ の 他 の 森 林	22	0. 2	地域森林計画の対象外の森林
合 計	10, 140	100. 0	

資料) R7静岡県森林・林業統計要覧

④民有林の齢級別・樹種別面積

R8. 3. 31現在

単位:ha

項目 齢級	針 葉 樹				広葉樹	合 計
	ヒノキ	スギ	その他	計		
1	26. 95	0. 92	-	27. 87	0. 92	28. 79
2	62. 33	-	-	62. 33	-	62. 33
3	14. 33	0. 36	-	14. 69	5. 17	19. 86
4	95. 12	0. 91	-	96. 03	12. 14	108. 17
5	81. 81	0. 94	-	82. 75	0. 14	82. 89
6	94. 68	1. 36	-	96. 04	4. 06	100. 10
7	39. 05	5. 37	-	44. 42	-	44. 42
8	64. 62	1. 01	0. 17	65. 80	0. 89	66. 69
9	144. 75	5. 34	-	150. 09	15. 14	165. 23
10	139. 21	0. 42	1. 13	140. 76	21. 35	162. 11
11	159. 63	4. 42	2. 75	166. 80	19. 29	186. 09
12以上	6, 148. 74	915. 26	160. 08	7, 224. 08	1, 614. 20	8, 838. 28
合計	7, 071. 22	936. 31	164. 13	8, 171. 66	1, 693. 30	9, 864. 96

※竹林、無立木地、更新困難地は除く

資料) 樹種別森林資源表

4 富士市有林の概要と施業管理

①市有林面積と材積 R8. 3. 31現在

区 分	合 計	人工林	天然林	人工林率
面積(ha)	2, 278. 35	1, 575. 10	703. 25	69. 13%
材積(m³)	508, 185	405, 275	102, 910	－

※特別会計分収林の材積を含む

②市有林種別面積 R8. 3. 31現在 単位：ha

区 分		種 別	普通林	普通林 内山借地	保安林 休養林除	保 健 休養林	分収林	計	合計	材積（m³）
一般		人工林	245. 86	－	343. 33	24. 44	－	613. 63	682. 50	191, 351. 98
		天然林	16. 44	－	－	52. 43	－	68. 87		10, 386. 56
特別会計	内山	人工林	313. 55	－	153. 31	－	－	466. 86	739. 18	132, 525. 31
		天然林	4. 69	－	267. 63	－	－	272. 32		39, 940. 64
	今泉	人工林	－	9. 14	－	－	－	9. 14	9. 14	2, 876. 91
		天然林	－	－	－	－	－	－		－
	四区	人工林	39. 49	4. 64	－	－	－	44. 13	44. 97	5, 940. 38
		天然林	0. 84	－	－	－	－	0. 84		184. 44
	須津	人工林	236. 16	－	83. 39	－	－	319. 55	658. 20	51, 189. 54
		天然林	1. 01	－	337. 64	－	－	338. 65		49, 798. 39
	吉永	人工林	109. 56	0. 61	－	－	－	110. 17	132. 74	20, 286. 42
		天然林	22. 57	－	－	－	－	22. 57		2, 600. 03
	原田	人工林	11. 62	－	－	－	－	11. 62	11. 62	1, 104. 84
		天然林	－	－	－	－	－	－		－
合計		人工林	956. 24	14. 39	580. 03	24. 44	－	1, 575. 10	2, 278. 35	405, 275. 38
		天然林	45. 55	－	605. 27	52. 43	－	703. 25		102, 910. 06
		計	1, 001. 79	14. 39	1, 185. 30	76. 87	－	2, 278. 35		508, 185. 44

※市有林面積には、市外の富士市所有山林
富士宮市内房(一般) 0. 95 ha
裾野市須山(内山) 48. 31 ha
富士宮市栗倉(原田) 11. 62 ha を含む

※須津保安林のうち108. 68ha ----- 旧須津特別会計と一般会計の分収割合5：5
※吉永普通林のうち 56. 77ha ----- 旧吉永特別会計と一般会計の分収割合5：5
※一般分収林（学校教育林）6. 25haは除く ----- 土地は国、施業は市(分収割合市7：国3)
※日本製紙(株)の分収林(内山)145. 56haは除く
※普通林（内山借地）の面積は実測値

③市有林人工林齢級別面積

単位：ha

齢級 林齢		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11以上	合計
		1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51以上	
一般			27.32	4.08	42.25	26.22	15.85	8.53	6.62	8.72	9.38	464.66	613.63
特別会計	内山	27.44	14.22		19.24	14.98	11.68	0.83		14.19	13.24	351.04	466.86
	今泉											9.14	9.14
	四区				1.12	0.02						42.99	44.13
	須津	1.42				0.67	0.17					317.29	319.55
	吉永	2.21			0.35	0.07						107.54	110.17
	原田					9.81	1.05					0.76	11.62
合計		31.07	41.54	4.08	62.96	51.77	28.75	9.36	6.62	22.91	22.62	1,293.42	1,575.10

④山林貸付地面積(令和7年3月31日現在)

区分		面積	貸付人数
一般会計		34.82 ha	57 人
森林財産 特別会計	内山地域	1,222.11 ha	265 人
	四区地域	55.59 ha	96 人
	須津地域	360.27 ha	258 人
	吉永地域	296.61 ha	199 人
合 計		1,969.40 ha	延 875 人

＊内山の面積には、他会計への貸付面積を含む。

⑤その他参考

富士市林業センター（一般に含む）	4.49 ha	
静岡県富士山こどもの国	197.48 ha	
（一般及び内山からの無償貸付）		
日本製紙㈱の分収林	145.56 ha	
（土地は内山、施業は日本製紙㈱）		
（うち121.66haの分収割合は内山 5：日本製紙㈱ 5）		
（うち 23.90haの分収割合は内山28：日本製紙㈱72）		
静岡県育種場 （一般からの貸付）	0 ha	（R7.3.31返還）

⑥市有林施業指針(標準)

ヒノキ人工林

林齡	新植 補植 下刈	除伐	枝打	間伐	残本数 (本/ha)	備考
1	新植				2,000本	
2	補植・下刈					
3	下刈2回目					
4	下刈3回目					
5	下刈4回目					
11		除伐	枝打2.5m			
18		除伐	枝打4.5m	間伐30%	1,400本	
25		除伐	枝打6.5m	間伐30%	980本	
35		除伐		間伐30%	700本	
45						標準伐期齡
55	主伐					

※ただし、林況、成長状況により施業の実施時期・新植本数を変える。

⑦市有林施業状況(一般・特別会計)

単位：ha

年度 施業	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
新植事業	2.53	4.19	7.53	7.67	19.30	2.85	4.61	9.21	5.25	4.60	7.40
補植事業	0.00	2.53	2.01	4.03	1.15	0.00	9.62	0.00	1.58	3.17	0.00
下刈事業	0.90	1.29	3.59	7.53	7.67	28.47	32.75	27.96	37.31	34.98	12.08
枝打事業	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.91	0.70
除・間伐事業	13.07	58.29	65.67	29.29	43.42	45.09	38.18	45.86	37.88	45.86	59.13
主伐事業	8.04	3.45	6.85	10.98	11.02	5.87	11.11	5.96	7.72	8.52	4.65

5 私有林施業の推進

①富士市造林事業補助金制度

造林事業(間伐・枝打・造林・下刈など)を行うことは、生産木材価値の上昇はもとより、水源かん養や自然災害の防止などの森林が持つ公益的機能の向上にもつながります。

富士市では、国や県の補助金に加えて、昭和50年に「富士市造林事業補助金交付要綱」を定め私有林への森林育成の手助けをしています。

造 林	新しい林を造るための木の植付けにかかる費用
下 刈	若い木の下の雑草を刈り払う費用
間 伐	間伐にかかる費用
枝 打	4 m以上の高さの枝打ちにかかる費用
制水工	林内の土砂流出を防ぐ柵を作るための費用
作業道	森林作業道（幅員2.5m以下、法高1.4m以下）開設にかかる費用

②間伐の推進

間伐は、健全な森林を育てる上で重要な施業です。富士市の森林で3～7 齢級の針葉樹の若い林分は333.93ha(4.1%)と少ない状況ですが、「富士ひのき」の銘柄化に向けた優良材の安定的供給確保のため、また、治山・治水の観点からも間伐を適正に実施していくことが必要です。富士市では、昭和60年を間伐元年として、3～7 齢級の私有林に対する全額補助を行ってきましたが、平成24年度より、90年生までを補助対象とするなど、積極的な施策を進めています。

③民有林間伐実施状況

単位：ha

年 度	S60-S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8
私有林	947.00	307.79	307.05	300.00	203.00	208.00	211.00	171.53	149.30	198.40
市有林	232.66	31.51	91.27	103.2	78.24	58.72	71.13	75.66	69.92	118.87
合 計	1,179.66	339.3	398.32	403.2	281.24	266.72	282.13	247.19	219.22	317.27
S60から 累 計	1,179.66	1,518.96	1,917.28	2,320.48	2,601.72	2,868.44	3,150.57	3,397.76	3,616.98	3,934.25

年 度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
私有林	128.46	77.93	54.82	90.00	112.00	136.01	95.20	98.87	97.73	75.61
市有林	74.74	68.76	69.62	69.97	54.71	33.27	27.05	23.1	28.51	23.83
合 計	203.20	146.69	124.44	159.97	166.71	169.28	122.25	121.97	126.24	99.44
S60から 累 計	4,137.45	4,284.14	4,408.58	4,568.55	4,735.26	4,904.54	5,026.79	5,148.76	5,275.00	5,374.44

年 度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
私有林	99.77	78.93	128.33	76.62	71.63	130.92	104.24	163.34	175.60	145.86
市有林	48.46	30.11	27.99	24.17	53.05	48.67	62.58	47.38	13.07	58.29
合 計	148.23	109.04	156.32	100.79	124.68	179.59	166.82	210.72	188.67	204.15
S60から 累 計	5,522.67	5,631.71	5,788.03	5,888.82	6,013.50	6,193.09	6,359.91	6,570.63	6,759.30	6,963.45

年 度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
私有林	110.57	128.68	127.60	144.57	188.57	193.00	175.64	217.58	209.22
市有林	65.67	29.29	43.42	52.34	42.51	65.91	51.79	45.86	59.13
合 計	176.24	157.97	171.02	196.91	231.08	258.91	227.43	263.44	268.35
S60から 累 計	7,139.69	7,297.66	7,468.68	7,665.59	7,896.67	8,155.58	8,383.01	8,646.45	8,914.80

※令和元年度までは、富士市森林組合による施業実績の値。令和2年度から、白糸植物園、令和6年度からフォレストラベルによる施業実績を含める。

④私有林施業実績（富士市森林組合事業分）

単位：ha

年 度	R3	R4	R5	R6	R7
新 植	3.14	2.98	8.11	6.31	8.05
下 刈	26.04	26.12	23.87	48.20	43.92
除 伐	－	－	－	－	－
間 伐 保育間伐	155.55	166.87	145.60	174.08	167.37
枝 打	－	4.91	3.47	－	4.23

⑤富士市森林組合の概要

組合員数 1,030人 （令和8年3月）

協力事業体 28班 58人

6 林道の整備状況

① 林道・作業道の現況 64路線・162,800m

(令和8年3月31日現在)

区 分	林 道(m)	作 業 道 (m)	合 計 (m)
平成 22 年 度 迄の延長	156,891	19,173	176,064
	1,167	280	1,447
平成 23 年 度	158,106	19,363	177,469
	1,215	190	1,405
平成 24 年 度	158,577	19,574	178,151
	471	211	682
平成 25 年 度	158,808	19,794	178,602
	231	220	451
平成 26 年 度	159,017	19,794	178,811
	209	0	209
平成 27 年 度	162,194	19,794	181,988
	3,177	0	3,177
平成 28 年 度	162,800	19,324	182,124
	606	△470	136
平成 29 年 度 ～ 令和 7 年 度	162,800	19,324	182,124
	0	0	0

※上段 当年度迄の累計 下段 増減

林道密度 目標 20m/ha
達成率 89.5%

7 保安林と松くい虫対策

①保安林の目的

私たちの暮らしを守るために必要な森林が保安林に指定されます。

保安林の指定は、その林の保全と適切な施業の確保を図り、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させることを目的としています。

現在、富士市には保安林の指定を受けている森林が延約1,546.16haあり、水源の涵養や山崩れ、土石流、暴風雨、津波等の災害防止の役割を果たしています。

②富士市の保安林の種別面積

(令和8年3月31日現在)

保安林の種別	筆数	面積 (ha)	備 考
土砂流出防備保安林	299	315.10	桑崎・大淵・須津山・松野等
防 風 保 安 林	62	5.02	海岸松林
潮 害 防 備 保 安 林	181	31.10	海岸松林
水 源 涵 養 保 安 林	82	912.99	桑崎・大淵・須津山等
保 健 保 安 林	22	280.66	丸火公園・須津山等
風 致 保 安 林	1	1.13	桑崎
飛 砂 防 備 保 安 林	1	0.16	海岸松林
合 計	648	1,546.16	(兼種含む)

資料) 民有保安林台帳:富士農林事務所

③松くい虫被害対策

内 容 \ 年 度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
伐倒処理(本)	1,514	1,071	495	553	466	514	383	253
衛生伐 (m ³)	685.33	475.47	232.84	205.80	262.43	333.94	211.20	274.16
薬剤地上散布 (ha)	26.0	23.0	23.63	23.63	23.63	23.63	23.78	23.78
薬剤空中散布 (ha)	21.0	23.7	23.10	23.10	23.37	23.37	23.37	23.37
松苗配布 (本)	2,150	1,480	1,215	1,130	1,200	810	330	0
	抵抗性マツ	抵抗性マツ	抵抗性マツ	抵抗性マツ	抵抗性マツ	抵抗性マツ	抵抗性マツ	※2

※ 平成29年度から薬剤地上散布及び空中散布は2回実施。

※2 令和7年は猛暑による苗の育成不足のため配布実績なし。

8 静岡県森林組合連合会富士事業所 取扱実績

① 金額・材積・平均単価

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
金 額 (千円)	967, 132	1, 538, 819	1, 347, 804	1, 093, 983	1, 146, 010	1, 167, 499
材 積 (m ³)	83, 141	90, 025	86, 766	75, 617	77, 350	77, 463
平均単価(円)	11, 630	17, 093	15, 530	14, 470	14, 820	15, 072

② 地区別集荷状況

単位：m³

年度 地区	R2	R3	R4	R5	R6	R7
富 士 市	16, 977	17, 870	21, 243	22, 496	24, 997	20, 476
富士宮・芝川	26, 660	22, 566	25, 745	17, 215	21, 336	22, 721
森林管理署	1, 318	1, 559	1, 368	1, 111	3, 233	853
伊 豆	19, 665	27, 471	18, 082	18, 918	12, 181	12, 103
駿 東	16, 430	16, 652	15, 410	13, 492	14, 372	20, 155
県 内	614	1, 566	652	790	310	229
県 外	1, 477	2, 341	4, 266	1, 595	921	926
合 計	83, 141	90, 025	86, 766	75, 617	77, 350	77, 463

※駿東：御殿場市、沼津市、三島市、裾野市、清水町、小山町、長泉町

③ 地区別売上実績 (R 7. 7～R 8. 6)

区 分	買方社数		材 積		金 額		一社当たり	
	(社)	%	(m ³)	%	(千円)	%	材積(m ³)	金額(千円)
地元(興津川以東)	35	51	56, 345	73	847, 646	73	1, 610	24, 218
県中部	16	24	4, 988	6	74, 243	6	312	4, 640
県西部大井川以西	1	1	859	1	7, 656	1	859	7, 656
県外	16	24	15, 271	20	237, 954	20	312	14, 872
合計	68	100	77, 463	100	1, 167, 499	100		

④ 令和7年度樹種別出荷状況

単位：m³

檜	杉	杉・檜	松・モミ・雑	合計
43, 805	27, 910	5, 328	420	77, 463

9 富土地域材の使用促進

富土地域材使用住宅取得費補助事業

富土地域材使用非住宅建築物取得費補助事業

森林環境を保全し、林業及び木材産業の振興に寄与することを目的に、富土地域材を使用した木造住宅の取得について、要件を満たしたものに対して補助金を交付しています。平成22年の事業開始から令和7年度まで、延べ984棟の住宅に助成を行っています。

令和3年度からは、富土地域材を使用した木造非住宅建築物の取得及び内装の木質化についても、要件を満たしたものに対して補助金を交付しています。

令和7年度からは、住宅取得費補助金の補助金額の拡充と要件の緩和、既存住宅の改修（リフォーム）を補助対象に追加しました。

補助金額	木造住宅の取得	地域材使用量4m ³ 以上6m ³ 未満	20万円
		6m ³ 以上16m ³ 未満	30万円
		16m ³ 以上	50万円
	既存住宅の改修	使用面積×3,500円/m ² （上限14万円）	
	木造非住宅建築物の取得	1棟30万円（定額）	
	非住宅建築物の内装木質化	施工面積30m ² 以上	10万円
		施工面積60m ² 以上	20万円

富土地域材使用住宅取得費補助事業 交付状況（H22.9.15～R8.3.31）

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
住宅取得 交付件数	19	40	40	60	40	60	60	64	76
住宅取得 交付金額 （千円）	5,700	12,000	12,000	18,000	12,000	18,000	18,000	19,200	22,800
既存住宅改修 交付件数									
既存住宅改修 交付金額 （千円）									

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	累計
住宅取得 交付件数	102	86	82	61	79	51	58	978
住宅取得 交付金額 (千円)	30,600	25,800	24,600	18,300	23,700	15,300	17,700	293,700
既存住宅改修 交付件数							6	6
既存住宅改修 交付金額 (千円)							568	568

※ 平成29年度から募集棟数の上限を撤廃した。

富土地域材使用非住宅建築物取得費補助事業 交付状況 (R3.4.1 ~ R8.3.31)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	累計
非住宅 建築物取得 交付件数	1	1	0	3	2	7
非住宅 建築物取得 交付金額 (千円)	300	300	0	900	600	2,100
内装木質化 交付件数	0	1	0	0	0	1
内装木質化 交付金額 (千円)	0	100	0	0	0	100

10 森林環境譲与税の使途

①森林環境譲与税について

温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に
必要な地方財源を安定的に確保する観点から、平成31年に森林環境税（令和6
年度から国税として1人年額1,000円課税）及び森林環境譲与税（令和元年度
から譲与）が創設されました。

森林環境譲与税は、市町村及び都道府県に譲与され、市町村においては、
間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整
備及びその促進に関する費用」に充てることとされています。

②富士市の森林環境譲与税の使途

(1) 令和元年度

歳入：森林環境譲与税 20,780,000円

歳出：20,780,000円

事業名	金額	備考
森林経営管理事業	13,061,020円	令和元年度開始
森林環境基金積立	7,718,980円	

(2) 令和2年度

歳入：森林環境譲与税 44,158,000円

歳出：44,158,000円

事業名	金額	備考
森林経営管理事業	17,364,600円	
富士ヒノキ製玩具贈呈事業	1,711,600円	令和2年度開始
森林環境基金積立	25,081,800円	

(3) 令和3年度

歳入：森林環境譲与税 43,985,000円

歳出：43,985,000円

事業名	金額	備考
森林経営管理事業	17,778,200円	
富士ヒノキ製玩具贈呈事業	1,765,500円	
富士地域材使用非住宅 建築物取得費補助事業	426,500円	令和3年度開始
林業就業者人材確保事業	161,810円	令和3年度開始
富士地域材宣伝広告活動事業	1,589,100円	令和3年度開始
森林環境基金積立	22,263,890円	

(4) 令和4年度

歳入：森林環境譲与税 58,820,000円

歳出：58,820,000円

事業名	金額	備考
森林経営管理事業	20,652,080 円	
富士ヒノキ製玩具贈呈事業	3,240,800 円	
富土地域材使用非住宅 建築物取得費補助事業	633,640 円	
林業就業者人材確保事業	2,663,960 円	令和4年度から富士市林業就業者人材確保事業費補助金を開始
富土地域材宣伝広告活動事業	2,594,000 円	
森林環境基金積立	29,035,520 円	

(5) 令和5年度

歳入：森林環境譲与税 58,820,000円

歳出：58,820,000円

事業名	金額	備考
森林経営管理事業	8,932,000 円	
富士ヒノキ製玩具贈呈事業	2,688,400 円	
富土地域材使用非住宅 建築物取得費補助事業	0 円	申請無
林業就業者人材確保事業	2,678,255 円	
FUJI HINOKI MADE製 椅子及びベンチ贈呈事業	3,953,180 円	令和5年度開始
富土地域材宣伝広告活動事業	3,316,440 円	
森林環境基金積立	37,251,725 円	

(6) 令和6年度

歳入：森林環境譲与税 72,826,000円

歳出：72,826,000円

事業名	金額	備考
森林経営管理事業	8,041,000	
富士ヒノキ製玩具贈呈事業	2,853,400	
富土地域材使用非住宅 建築物取得費補助事業	1,002,300	
林業就業者人材確保事業	2,035,402	
FUJI HINOKI MADE製 椅子及びベンチ贈呈事業	5,700,816	
富土地域材宣伝広告活動事業	6,230,540	
森林整備事業 (作業道開設補助)	3,000,000	令和6年度開始
富士ひのきの森 千束橋架替工事	2,000,000	令和6年度のみ 千束橋架替工事で地域材を使用する
森林環境基金積立	41,962,542	

(7) 令和7年度

歳入：森林環境譲与税 76,741,000円

歳出：76,741,000円

事業名	金額	備考
森林経営管理事業	6,237,000	
富士ヒノキ製玩具及び 立体パズル贈呈事業	7,509,830	立体パズルは令和7年度開始
富土地域材使用住宅及び 非住宅建築物取得費補助事業	21,367,962	令和7年度から住宅取得費補助金を森林 環境譲与税より支出
林業就業者人材確保事業	5,448,668	
FUJI HINOKI MADE製 椅子及びベンチ贈呈事業	4,799,190	
富土地域材宣伝広告活動事業	7,389,908	
森林整備事業 (作業道開設補助)	2,600,000	
森林環境基金積立	21,388,442	

③事業概要

(1) 森林経営管理事業（令和元年度開始）

森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査、経営管理権集積計画作成に係る森林所有者への同意取得等を民間事業者へ委託。

(2) 富士ヒノキ製玩具及び立体パズル贈呈事業（令和2年度開始）

木育の意識醸成と地域材のPRのため、富士市「6か月児すくすく赤ちゃん講座」に参加する親子に富士ヒノキ製玩具を贈呈する。（令和3年度ウッドデザイン賞受賞）

また、富士市「5歳児健康診査」を受診する親子に富士ヒノキ製立体パズルを贈呈する。（令和7年度開始）

(3) 富土地域材使用住宅及び非住宅建築物取得費補助事業（令和3年度開始）

森林環境を保全し、林業及び木材産業の振興に寄与することを目的に、富土地域材を使用した木造住宅の取得及び既存住宅の改修、非住宅の取得及び内装の木質化について補助金を交付する。

(4) 林業就業者人材確保事業（令和4年度開始）

市内の林業就業者の人材確保のため、林業の現場見学会や市内林業のPR等を行う。

また、安全装備の購入等及び新規就業者の雇用について補助金を交付する。

(5) FUJI HINOKI MADE製椅子及びベンチ贈呈事業（令和5年度開始）

木育の意識醸成と地域材のブランドFUJI HINOKI MADEの認知度向上のため、市内幼稚園等にFUJI HINOKI MADE製椅子及びベンチを贈呈する。

(6) 富土地域材宣伝広告活動事業（令和3年度開始）

富士ヒノキの知名度向上と地域材利用を推進するため、宣伝広告活動等を行う。

(7) 森林整備事業（作業道開設補助）（令和6年度開始）

未整備森林の間伐にあたり、災害に強く安全な工法での作業道開設に対して補助金を交付する。

富士市行政資料登録番号

R 8 - 2 0